

《第1節》

【節】英語版テキスト p.5 上段。

Aum uśan ha vai vājaśravasaḥ sarvavedasam dadau ;
オーム ウシャン ハ ヴォイ ヴァー ジャシュラヴァサハ
サルヴァヴェーダサム ダダウ ;
tasya ha naciketā nāma putra āsa.
タッスヤ ハ ナチケートー ナーマ プットラ アーサ

【単語】英語版テキスト p.5 中段。

- ・ウシャン (uśan : 報酬を願い) [儀式をすることで得られる報酬を願い]
- ・ヴァー ジャシュラヴァサハ ハ ヴォイ (vājaśravasaḥ : ヴァー ジャシュラ
ヴァサは)
- [ha : 強調詞 : 全く、本当に、確かに ; vai : 肯定詞 : 実に、誠に]
- [(寄付行為で昔から有名な聖者の家系の) ヴァー ジャシュラヴァサは]
- ・サルヴァ ヴェーダサム (sarva : すべての vedasam : 財産、富)
- ・ダダウ (dadau : 与えた、寄付した) [過去形]
- [財産すべてを寄付するヴィッシュワジイトという儀式 (ヤッギヤ) をした]

- ・タッスヤ (tasya : 彼には) [彼=ヴァー ジャシュラヴァサ]
- ・ハ ナチケートー ナーマ (ha naciketā nāma : ナチケートーという名の)
- ・プットラハ (putraḥ : 息子)
- ・アーサ (āsa : いた)

【訳】英語版テキスト p.5 下段。

寄付行為で有名な聖者の家系であるヴァー ジャシュラヴァサは、もっと多くの報酬(儀式の恩恵)を願って、自分の富すべてを寄付するヴィッシュワジイトという儀式を行った。彼にはナチケートーという名の若い息子がいた。

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』p.44、8行目。

ある時、ヴァー ジャシュラバスの子ウシャス [*] は神の恩恵を願い、財産すべてを捧げる必要のある供儀を執り行った。

[*協会書籍 注1より: 底本では供儀を執り行ったのはヴァー ジャシュラバスとなっているが、サンスクリット原典に基づいてヴァー ジャシュラバスの子であるウシャスに改めた]

《第2節》

【節】 英語版テキスト p.6 中段。

tam ha kumāram santam dakṣiṇāsu nīyamānāsu śraddhāviveśa
so'manyata.

タム ハ クマーラム サンタム ダクシナーズ ニーヤマーナーズ シュラ
ッダーヴィヴェーシャ ソーアマンニヤタ

【単語】 英語版テキスト p.6 中段。

- ・ タム ハ クマーラム サンタム (tam ha kumāram santam : 息子、ナチケーターは若かった)
- ・ ダクシナーズ (dakṣiṇāsu : 贈り物) [複数]
- ・ ニーヤマーナーズ (nīyamānāsu : 捧げられた)
- ・ シュラッダー (śraddhā : 信仰し尊敬する性質)
- ・ アーヴィヴェーシャ (āviveśa : 中に入った) [シュラッダーが中に入った]
- ・ サハ (saḥ : 彼)
- ・ アマンニヤタ (amanyata : 沈思黙考した)

【訳】 英語版テキスト p.6 下段。

ナチケーターは父が捧げた贈り物の類を見た。ナチケーターは若かったが聖典の教えを信仰し尊敬していた。彼はその信仰の光の中で沈思黙考した。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.44、10行目。

……この吝^{りんしょく}嗇さ（けち。ひどい物惜しみ）を見て、彼の若い息子であるナチケーターは聖典の説く真理を心に受け止めていたので、ひそかに考えた。

《第3節》

【節】 英語版テキスト p.7 中段。

pitodakā jagdhatrṇā dugdhadohā nirindriyāḥ ;

ピトーカー ジャグダハトウリンナー ドウグダハドーハー ニリンドウリ
ヤーハ ;

anandā nāma te lokāstān sa gacchati tā dadat.

アナンダー ナーマ テー ローカースターン サ ガッチャティ ター ダ
ダト

【単語】 英語版テキスト p.7 下段。

- ・ピトーカーハ (pitodakāḥ : 水を飲み終わった) [水を飲むことができないほど老いている]
- ・ジャグダハトウリンナーハ (jagdhatrṇāḥ : 草を食べ終わった) [草を食べることができないほど老いている]
- ・ドウグダハドーハーハ (dugdhadohāḥ : 牛乳を出すことができない)
- ・ニリンドウリヤーハ (nirindriyāḥ : 器官がない) [子牛を生むことができない]

- ・アナンダーハ (anandāḥ : 楽しみが何も無いこと)
- ・ナーマ テー (nāma te : ~で知られる)
- ・ローカーハ ターン (lokāḥ tātān : その世界へ tātān : その、それ)
- ・サハ (saḥ : 彼は) [= (贈り物をする) ナチケーターの父]
- ・ガッチャティ (gacchati : 行く) [現在形]
- ・ター (tā : それ)
- ・ダダト (dadat : 与える、寄付する) [現在形]

【訳】 英語版テキスト p.8 上段。

贈り物は病気や老いでミルクも出ない、子も産まない牝牛たちである。他者への贈り物として、そのようなものを捧げる者は、[死後]「アナンダー」といわれる喜びや楽しみが何も無い世界に行く。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.44、9行目。

だが彼(ナチケーターの父)は、家畜のみ、それも、使いものにならないような、年老いたもの、不妊のもの、盲目のもの、不具のもののみを捧げるように心がけた。この吝嗇さを見て、彼の若い息子であるナチケーターは聖典の説く真理を心に受け止めていたので、ひそかに考えた [←第2節に該当]。「まことに、このような無価値な犠牲をあえて捧げるような者は、完全な闇に落ちる運命にある」

《第4節》

【節】 英語版テキスト p.9 上段。

sa hovāca pitaram tata kasmai mām dāsyasīti ;

サ ホーヴァーチャ ピタラム タタ カスマイ マーム ダースヤスィーテ
イ ;

dvitīyam tṛtīyam tam hovāca mṛtyave tvā dadāmi.

ドウヴィティーヤム トウリティーヤム タム ホーヴァーチャ ムリッティ
ヤヴェー トウヴァー ダダーミーティ

【単語】 英語版テキスト p.9 上段。

- ・ サハ ハ ウヴァーチャ (sa ha : 彼は uvāca : 言った)
- ・ ピタラム (pitaram : 父に)
- ・ タタ (tata : お父さん、)
- ・ カスマイ (kasmai : 誰に)
- ・ マーム (mām : 私を)
- ・ ダースヤスィ (dāsyasi : 与えますか)

- ・ ドウヴィティーヤム (dvitīyam : ふたたび) [(父が答えなかったので) 再度]
- ・ トウリティーヤム (tṛtīyam : 三たび)
- ・ タム ハ (tam ha : 彼に)
- ・ ウヴァーチャ (uvāca : 言った)
- ・ トウヴァー (tvā : あなたを)
- ・ ムリッティヤヴェー (mṛtyave : 死の神に) [死の神=ヤマ]
- ・ ダダーミー (dadāmi : 与える、寄付する) [未来形]

【訳】 英語版テキスト p.9 中段。

ナチケーターは彼の父にたずねた、「お父さん、私を誰に寄付しますか?」。[父が答えなかったので] 2回、3回、と繰り返し同じことを問うと、ついに父は答えた、「私はお前を死の神に差し上げよう」。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.44、13行目。

このように思い、彼は父のもとに行って訴えた。

「父上、私もまたあなたのものです。私を誰に与えるのですか?」

父は答えなかった。しかしナチケーターはその質問を何度も何度も繰り返したので、父は我慢できずに答えた。「汝は、死の神にくれてやろう!」

《第5節》

【節】 英語版テキスト p.10 上段。

bahūnāmemi prathamō bahūnāmemi madhyamaḥ ;

バフナーメーミ プラタモー バフナーメーミ マッディヤマハ ;

kiṁ svidyamasya kartavyam yanmayā'dya kariṣyati.

キム スヴィッディヤマッサヤ カルタッヴィヤム ヤンマヤーディヤ カリ
シュヤティ

【単語】 英語版テキスト p.10 上段。

- ・ バフナーム エミ プラタマハ (bahūnām emi prathamaḥ : 数多くの者の中で私がもっとも優れている) [数多くの子供や弟子の中で]
- ・ バフナーム エミ マッディヤマハ (bahūnām emi madhyamaḥ : 数多くの者の中で私は次に優れている) [最も優れていなくても少なくとも次に優れている]
- ・ ヤマッサヤ キム スヴィット カルタッヴィヤム (yamasya kim svit kartavyam : ヤマが望む奉仕は何だろうか?) [svid : 何 ; kim : ~か?]
- ・ ヤン マヤーディヤ カリシュヤティ (yan mayā'dya kariṣyati : 私が彼のために出来ること)

【訳】 英語版テキスト p.10 中段。

私は確かに父の数多くの子供や弟子の中で一番の者である。そうではないとしても少なくとも二番目に優れた者である。[最悪の者では決してない] 父はそのような私をヤマに送るが、ヤマはどのような奉仕を望んでいるのだろうか？

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.45、5 行目。

それを聞いて、ナチケータスは考えた。「父上の数多い息子や弟子たちの中で、私は最も優れたものである。少なくとも中位ではある。最悪のものではない。その私が何のために死の神のもとへ行くのだろうか」

《第6節》

【節】 英語版テキスト p.11 中段。

anupaśya yathā pūrve pratipaśya tathā'pare ;
アヌパッシャ ヤター プールヴェー プラティパッシャ タターパレー ;
sasyamiva martyaḥ pacyate sasyamivājāyate punaḥ.
サッサミーヴァ マルティヤハ パッチャター サッサミーヴァージャー
ヤター プナハ

【単語】 英語版テキスト p.11 中段。

- ・ アヌパッシャ (anupaśya : よく考える)
- ・ ヤター (yathā : たとえば) [たとえば彼らがどのようなであったか]
- ・ プールヴェー (pūrve : 前の) [先祖たち ; 過去の偉大な魂たち]
- ・ プラティパッシャ (pratipaśya : 比べる、観察する)
- ・ タター (tathā : たとえば)
- ・ アパレー (apare : あとの) [あなた (ナチケーターの父) と同時代の人びと]

- ・ サッサム (sasyam : 穀物、植物)
- ・ イヴァ (iva : 同じように)
- ・ マルティヤハ (martyaḥ : 死ぬことになっている、死を免れない)
- ・ パッチャター (pacyate : なくなる) [穀物のように枯れ落ちる]
- ・ アージャーヤター (ājāyate : 生まれる)
- ・ プナハ (punaḥ : 再び)

【訳】 英語版テキスト p.11 下段。

あなたの先祖たち [過去の偉大な魂たち] がどのようなであったか、よくお考えください。そして今生きている偉大な魂たちがどのようなになるか、よくお考えください。穀物は育ち、そして枯れます。人間もそれと同様です。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.45、7行目。

しかし、父の言葉を守ろうと決めて、彼は言った。
「父上、その誓いを悔やまれぬよう！ 既に去った者たちがどのようなであったか、また今、生きている者たちがどのようなになるだろうかをよくお考えください。穀物のように、人は熟して地に落ちます。そして、穀物のように、人は季節がめぐり来れば再び生まれ出ます」
そのように語って、少年は死の神の家へと旅立った。

《第7節》

【節】英語版テキスト p.12 中段。

vaiśvānaraḥ praviśatyatithirbrāhmaṇo grhān ;

ヴァイッシュヴァーナラハ プラヴィッシャティヤティティルブラーフマノー
グリハーン

tasyaitām śāntim kurvanti hara vaivasvatodakam.

タッサイターム シャーンティム クルヴァンティ ハラ ヴァイヴァスヴァ
アトードカム

【単語】英語版テキスト p.12 下段。

- ・ ヴァイッシュヴァーナラハ (vaiśvānaraḥ : 火、炎)
- ・ プラヴィッシャティ (praviśati : 入る)
- ・ アティティ (atithiḥ : お客様、訪問客)
- ・ ブラーフマナハ (brāhmaṇaḥ : ブラーミン)
(* ブラーミン=カーストの最上階級で、儀式をしたり、聖典を教えたりする)
- ・ グリハーン (grhān : 家に)

- ・ タッサ エーターム (tasya etām : そしてその人はこのように)
- ・ シャーンティム (śāntim : 喜ぶ)
- ・ クルヴァンティ kurvanti : される)
- ・ ハラ (hara : ください)
- ・ ヴァイヴァスヴァタ (vaivasvata : 太陽の息子) [=ヤマ]
- ・ ウダカム (udakam : 水) [水をあげる]

【訳】英語版テキスト p.12 下段。

ブラーミンの訪問を受けたときには、彼を炎のようにもてなされなければならない。定められたものを提供し、喜ばせなければならない。そこでヴァイヴァスヴァタ [ヤマ] は彼のために水を汲んできた。

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.45、12 行目。

しかし、神は家にいなかったので、ナチケートスは三夜の間待った。ようやく死の神が戻ってきた時、彼の召使が言った。「一人のブラーミンが、炎の輝きのようあなたの家に入ってきましたが、あなたは不在でした。それゆえに、彼に和解の贈り物をしなければなりません。

《第8節》

【節】英語版テキスト p.13 下段。

āsāpratīkṣe saṁgatam sūnṛtām ceṣṭāpūrte putrapaśūmśca sarvān ;
アーシャープラティークシェー サムガタム スーンリターム チェーシュター
プールテー プットラパッシュームシュチャ サルヴァーン ;
etadvṛṅkte puruṣasyālpamedhaso yasyānaśnanvasati brāhmaṇo grhe.
エータヴリンクテー プルシャッスチャーアルパメーダーソー ヤッスヤーナ
ッシュナンヴァサティ ブラーンマノー グリヘー

【単語】英語版テキスト p.13 下段。

- ・アーシャー (āsā : 希望)
- ・プラティークシェー (pratīkṣe : 期待)
- ・サムガタム (saṁgatam : 良い交わりの結果) [良いカルマの結果]
- ・スーンリターム (sūnṛtām : 良い会話の結果) [良いカルマの結果]
- ・イシュター・プールテー (iṣṭā-pūrte : iṣṭā は儀式の結果 ; pūrte は巡礼者のために井戸を掘る、道をつくる、植樹する、宿泊施設をつくるなどの奉仕)
- ・プットラ・パッシューン (putra-paśūn : 子供たち、動物たち)
- ・サルヴァーン (sarvān : それらすべて)

- ・エータット (etat : それ) [=食事の歓待がされていない訪問客]
- ・ヴリンクテー (vṛṅkte : 滅ぼす)
- ・プルシャッスチャー アルパメーダサハ (puruṣasya alpamedhasaḥ : puruṣasya は人、alpamedhasaḥ はそれが理解出来ない、愚かな)
- ・ヤッスヤー グリヘー (yasyā grhe : その家で)
- ・アナッシュナン (anaśnan : 何も食べずに、何も飲まずに)
- ・ヴァサティ (vasati : 泊まる)
- ・ブラーフマナハ (brāhmaṇaḥ : ブラーミン) [食事の歓待もなく帰る訪問客]

【訳】英語版テキスト p.12 下段。

訪問客ブラーミンに対し、食事のもてなしを何もしないと、その家の主人の希望も期待も粉々に砕け散る。良い交わり、良い会話、犠牲供養、寄付や井戸を掘るなどの奉仕から得た果報も、その家の家畜や子供たちも、すべて失われる。

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.45、15 行目。

慣例の儀式によって、王よ、あなたは客人を迎えなければなりません。なぜなら、家長がブラーミンに対してしかるべき歓待を示さなければ、彼は最も欲するもの——善業の果報、正義、息子、家畜などを失うからです」

《第9節》

【節】英語版テキスト p.15 中段。

tisro rātrīryada vātsīrgrhe me'naśnan brahmannatithirnamasyah ;
ティスロー ラートリーリヤダ ヴアートシールグリエ メーナシュナン ブ
ラフマンナティティルナマस्याハ ;
namaste'stu brahman svasti me'stu tasmāt prati trīn varān vṛṇīṣva.
ナマステーストゥ ブラフマン スヴァスティ メーストゥ タスマート プ
ラティ トウリーン ヴアラーン ヴリニーシュヴァ

【単語】英語版テキスト p.15 下段。

- ・ヤット メー グリデー ティスラハ ラートリーヒ (yat me grhe tisrah rātrīh : あなたは三夜を私の家で)
- ・アヴァートシーヒ (avātsīh : 泊まった)
- ・アナシュナン (anaśnan : 何も食わずに)
- ・ブラフマン (brahman : おお、ブラーミンよ)
- ・アティティ (atithih : 訪問客)
- ・ナマツस्याハ (namasyah : 尊敬すべき、敬うべき)

- ・ナマハ アストウ (namaḥ astu : 私はあなたに敬礼 (挨拶) します)
- ・ブラフマン テー (brahman te : ブラーミンであるあなたに)
- ・メー スヴァスティ (me svasti : 私が繁栄するように)
- ・プラティ (prati : それぞれ) [すなわち一夜につき一つとして]
- ・トウリーン ヴアラーン ヴリニーシュヴァ (trīn varān vṛṇīṣva : 三つの願い (恩恵) を願い出てください)

【訳】英語版テキスト p. 16 上段。

[ヤマはナチケーターに]「あなたは私の訪問客で、ブラーミンでもあられる。私はあなたに多くの敬意を払い、ご挨拶します。どうか私の繁栄を祈り、祝福してください。ブラーミンよ、あなたは私の家に来て三日三晩を何も食わずに過ごしました。一夜につき一つとして、どうぞ三つの願いを私に願い出てください」

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.46、4 行目。

そこで、死の神はナチケーターに近づき、礼を尽くした言葉で彼を迎えた。「おお、ブラーミンよ」と、死の神は言った。「汝に敬礼する。汝は実に、あらゆる尊敬に値する賓客である。願わくば、いかなる災いもわが身に降りかからぬことを。汝は三夜をわが宅で過ごしたのに、わがもてなしを受けられなかった。それゆえに、一夜につき一つとして、三つの恩恵を求めよ」

《第10節》

【節】 英語版テキスト p.17 上段。

śāntasāṅkalpaḥ sumanā yathā syādvītamanyurgautamo mā'bhi mṛtyo ;
シャーンタサムカルパハ スマナー ヤター シャードヴィータマンニユルガ
ウタモー マービ ムリッティヨー ;

tvatprasṛṣṭam mā'bhivadetprafīta etat trayāṅām prathamam varam vr̥ṇe.
トヴァットプラスリィシュタム マービィヴァデートプラティータ エータッ
ト トウラヤーナム プラタマーム ヴアラム ヴリネー

【単語】 英語版テキスト p.17 上段。

- ・ シャーンタサムカルパハ (śāntasāṅkalpaḥ : 心配から解放される)
- ・ スマナーハ (sumanāḥ : 陽気に)
- ・ ヴィータマンニユ (vītamanyuḥ : 静かになる、あまり怒らない)
- ・ ガウタモー (gautamo : 私のお父さん)
- ・ マー アビ (mā abhi : 私に)
- ・ ムリッティヨー (mṛtyo: おお、死神[ヤマ]よ)

- ・ トヴァット プラスリィシュタム (tvat prasṛṣṭam : あなたが私を帰した時)
- ・ マー アビ ヴァデート (mā abhi vadet : いつものように私に話しかける)
- ・ ヤター シャート プラティータ (yathā syāt prafītaḥ : 私を見てすぐ判る)
- ・ エータット トウラヤーナム (etat trayāṅām : 三つの願いの中の)
- ・ プラタマーム ヴアラム ヴリネー (prathamam varam vr̥ṇe : 私の一番最初の願いです)

【訳】 英語版テキスト p.17 中段。

[ナチケーターは答えた]「死神よ。父が、心配から解放され陽気になり、私への怒りもなくなり、あなたの場所から戻ったときに私だと分かり、以前と同じに愛してくれますように。これが三つのうちの最初の願いです」

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.46、9 行目。

「おお、死の神よ」と、ナチケーターは答えた。「どうかそのように。最初の恩恵として、私は、父が私を案じることのないように、彼の怒りが融けるように、そしてあなたが私を彼のもとへ送り返した時に、彼が私を認め、喜んで迎えてくれるように、願います」

《第 1 1 節》

【節】 英語版テキスト p.18 中段。

yathā purastād bhavitā pratīta auddālakirāruṇimatprasr̥ṣṭaḥ ;
ヤター プラスタート バヴィター プラティータ アウッダーラキルアール
ニルマトプラスリシュタハ ;
sukham rātrīḥ śayitā vītamanyustvām dadṛśivānmṛtyumukhāt pramuktam.
スッカム ラートリー シャイター ヴィータマンニユストヴァーム ダアド
リッシバーンムリトユムカート プラムクタム

【単語】 英語版テキスト p.18 下段。

- ・ヤター プラティータハ (yathā pratītaḥ : 彼が前と同じように愛す)
- ・プラスタート (purastāt : 以前) [すなわち、ヤマの所に来る以前]
- ・バヴィター (bhavitā : 残るだろう) [未来形]
- ・アウッダーラキ (auddālakīḥ : アウッダーラカ (聖者の名前) の息子)
- ・アールニ (āruṇiḥ : アルナの息子)
[アウッダーラカ・アルナの息子=ナチケーターの父]
- ・マツト プラスリシュタハ (mat prasr̥ṣṭaḥ : あなたを [父の元へ] 帰す)

- ・スッカム ラートリー シャイター (sukham rātrīḥ śayitā :
[あなたの父は、心配がなくなり] よく眠れるようになるだろう) [未来形]
- ・ヴィータマンニユフ (vītamanyuḥ : 怒ることはない)
- ・トヴァーム ダアドリッシバーン (tvām dadṛśivān : 彼があなたに再会する
時)
- ・ムリトユムカート (mṛtyumukhāt : 死から)
- ・プラムクタム (pramuktam : [死から] 解放されて)

【訳】 英語版テキスト p.18 下段。

[ヤマは答えた]「アウッダーラカ・アルナの息子であるあなたの父は、以前はあなたを愛していました。私は自分の意向によってあなたを帰しますが、帰っても父上は前と同じようにあなたを愛します。帰るまでに、父上を安心してよく眠れるようにします。あなたが死から解放されて、生き返って再会しても、父上が怒ることはありません」

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.46、12 行目。

「わが意向によって」と、死の神は言明した。「汝の父は汝を認め、今までのように汝を愛するであろう。生きた汝を見て、汝の父は冷静な思考を取り戻し、安らかに眠るだろう」

《第 1 2 節》

【節】 英語版テキスト p.19 中段。

svarge loke na bhayaṁ kimcānāsti na tatra tvam na jarayā bibheti ;
スヴァルゲー ローケー ナ バヤム キムチャナースティ ナ タットラ
トヴァム ナ ジャラヤー ビベーティ ;
ubhe firtvā 'śanāyāpipāse śokātigo modate svargaloke.
ウベー ティールトウヴァーシャナーヤーピパーセー ショーカーティゴー
モーダテー スヴァルガローケー

【単語】 英語版テキスト p.19 下段。

- ・スヴァルゲー ローケー (svarge loke : 天国で)
- ・キムチャナ バヤム ナ アスティ (kimcana bhayam na asti : 恐れが無い)
- ・タットラ (tatra : そこ [天国] には)
- ・トヴァム (tvam : あなた) [=ヤマ]
- ・ナ チャ ジャラヤー ビベーティ (na ca jarayā bibheti : 老いるという恐れも無い)
- ・ウベー アーシャナーヤー ピパーセー ティールトウヴァー (ubhe aśanāyā pipāse firtvā : 飢えと渴きを克服する)
- ・ショーカーティゴー (śokātigo : 悲しみを超えている)
- ・モーダテー (modate : 楽しむ)
- ・スヴァルガローケー (svargaloke : 天国で)

【訳】 英語版テキスト p.19 下段。

[ナチケーターは言った]「天国にはいかなる恐れもありません。死神よ、天国にあなたの影響が及ぶことはなく、したがって老いることへの恐怖もありません。飢えと渴きが人を悩ませることもありません。苦しみや悲しみもありません。天国では誰もが喜び楽しめます。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.46、14 行目。

次に、ナチケーターは言った。「天界には、いかなる恐れもありません。死の神よ、あなたもそこにはおらず、老いるという思いが人を恐れさすこともありません。そこでは、飢えからも渴きからも自由になり、悲しみから遠く離れて、すべてのものが喜び、楽しめます。

《第13節》

【節】英語版テキスト p.21 上段。

sa tvamagnim svargyamadhyeṣi mṛtyo prabrūhi tvam śraddadhānāya mahyam ;

サ トヴァマグニム スヴァルギヤムアッディエーシ ムリッティヨー プラ
ッブルーヒ トヴァム シュラッダダーナーヤ マッヒヤム ;

svargalokā amṛtatvam bhajanta etad dviṭiyena vṛṇe vareṇa.

スヴァルガローカー アムリタットヴァム バジャンタ エータッド ドウヴ
ィティイーエーナ ヴリネー ヴアレーナ

【単語】英語版テキスト p.21 中段。

- ・サハ トヴァム スヴァルギヤム (saḥ tvam svargyam : 天国への道)
- ・アグニム (agnim : 火) [火の儀式]
- ・アッディエーシ (adhyeṣi : ~について知っている)
- ・ムリッティヨー (mṛtyo : おお、死神よ)
- ・マッヒヤム プラッブルーヒ (mahyam prabrūhi : 私に説明してください)
- ・シュラッダダーナーヤ (śraddadhānāya : 信仰をもっている)

- ・スヴァルガローカーハ (svargelokāḥ : 天国にいる人びと)
- ・アムリタットヴァム (amṛtatvam : 不死)
- ・バジャンター (bhajante : 楽しむ)
- ・エータット (etat : これ) [すなわち、火の儀式についての知識]
- ・ドウヴィティイーエーナ ヴアレーナ (dviṭiyena vareṇa : 私の二番目の願いとして)
- ・ヴリネー (vṛṇe : 祈る)

【訳】英語版テキスト p.21 下段。

死神よ、あなたは天国へと導く火の儀式についてご存じです。どうかそれを私に説明してください。私は信仰を持つ者です。天国に住む者たちは不死を楽しみません。火の儀式についての知識は、私の二つ目の願いです」

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.47、2行目。

王よ、あなたは、天界へと導く火の供犠を知っています。その供犠を私に教えてください。なぜなら、私は誠心に満ちているから。これが私の二つ目の願いです」

《第 1 4 節》

【節】英語版テキスト p.22 下段。

pra te bravīmi tadu me nibodha svargyamagnim nachiketaḥ prajānan ;
プラ テー ブラヴィーミ タドウ メー ニボーダ スヴァルギヤマグニム
ナチケーターハ プラジャーナン ;
anantalokāptimatho pratiṣṭhām viddhi tvametam nihitam guhāyām.
アナンタローカープティマトー プラティッシュターム ヴィッディ トヴァ
メータム ニヒタム グハーヤーム

【単語】英語版テキスト p.23 上段。

- ・ テー プラブラヴィーミ タット ウ (te prabravīmi tat u : 私はそれをあなたに説明する)
- ・ メー ニボーダ (me nibodha : 注意深く私の言うことを聞いて)
- ・ スヴァルギヤム アグニム プラジャーナン (svargyam agnim prajānan : 天国へ導く火の儀式というものについて、私はよく知っている)
- ・ ナチケーターハ (nachiketaḥ : おお、ナチケーターよ)

- ・ アナンタローカープティム (anantalokāptim : 天国へ行く) [不死を得る]
- ・ アトー プラティッシュターム (atho pratiṣṭhām : 宇宙の基礎) [宇宙を支えるもの]
- ・ ヴィッディ (viddhi : 理解してください)
- ・ トヴァム (tvam : あなた)
- ・ エータム (etam : この) [火の儀式のこと]
- ・ グハーヤーム ニヒタム (guhāyām nihitam : 洞穴の中に隠れている)
[洞穴とは人間の心のこと。また、ここでの人間とは賢者のこと]

【訳】英語版テキスト p. 23 中段。

[ヤマは言った]「ナチケーターよ、天国へ導く火の儀式について、私はよく知っている。私はそれをあなたに詳しく説明しよう。どうか注意深く聞き、理解するように努めて欲しい。この火の儀式は、不死を得るための手段であるだけでなく、この宇宙を支えているものだという事を、どうか覚えておくように。それは賢者の心の中に隠されているものである」

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.47、4 行目。

死の神は言った。「私は天国に導く火の供犠をよく知っている、そしてそれをあなたに説明しよう。聞きなさい。この火は天界に導く手段であることを知りなさい。それは宇宙の基礎であり、賢者の霊性の心臓の中に隠されている」

《第15節》

【節】 英語版テキスト p.25 中段。

lokādīmagñim tamuvāca tasmai yā iṣṭakā yāvafīrvā yathā vā ;

ローカーディマグニム タムヴァーチャ タスマイ ヤー イシタカー ヤー
ヴァティールヴァ ヤター ヴァー ;

sa cāpi tatpratyaavadadyathoktamathāsya mṛtyuḥ punarevāha tuṣṭaḥ.

サ チャーピ タットプラッティヤヴァダディトクタマターシャ ムリッテ
ユフ プナレーヴァーハ トウシュタハ

【単語】 英語版テキスト p.25 下段。

- ・ ローカー (lokā : 世界)
- ・ アーディム (ādim : 始め)
[lokā-adim : 世界の始まり]
- ・ アグニム (agnim : 火について)
- ・ タム (tam : それ) [いまの話題のこと]
- ・ ウヴァーチャ (uvāca : 説明した)
- ・ タスマイ (tasmai: 彼 [ナチケーター] に)
- ・ ヤーハ (yāḥ : どんな種類の)
- ・ イシタカーハ (iṣṭakāḥ : レンガ) [火の儀式の祭壇に使うレンガ]
- ・ ヤーヴァティールヴァ ヴァー (yāvafīrvā : または、どれくらい)
- ・ ヤター ヴァー (yathā vā : [点灯の] 方法)

- ・ サハ チャー アピ (saḥ ca api : 彼 [ナチケーター] もまた)
- ・ タット (tat : 同じ)
- ・ プラッティヤヴァダット (pratyaavadat : 繰り返す)
- ・ ヤター ウクタム (yathā uktam : 言ったように) [ヤマが説明したように]
- ・ アタ (atha: それから)
- ・ アッシャ (asya: これ [ナチケーターが正しく繰り返したこと] について)
- ・ ムリッテユフ (mṛtyuḥ: 死神ヤマ)
- ・ プナハ エーヴァ (punaḥ eva: もっと)
- ・ アーハ (āha: 言った)
- ・ トウシュタハ (tuṣṭaḥ: 喜んで)

【訳】 英語版テキスト p.25 下段。

ヤマはナチケーターに、火は、世界の始まり [=存在があらわれた最初の段階
*the first embodied existence] だと言った。それから彼は、火の儀式をど
のように執り行うかを説明した。儀式用の祭壇の作り方、つまりどんな種類のレ

ンガを使うか、どのように祭壇をととのえるかを話した。火をどのように点火するかについても話した。ナチケーターがヤマの説明したことすべてを正しく繰り返すと、ヤマは喜んだ。そして彼は言った、

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.47、7行目。

死の神、世界の源である火の供犠に関して、どのようなレンガが祭壇の為に必要か、また儀式のための火がどれだけ、どのように灯されたかについて話した。ナチケーターもまた、彼に話された様にその全てをくり返した。そして死の神は、喜んで再び話した。

《第16節》

【節】英語版テキスト p.26 下段。

tamabravīt prīyamāno mahātmā varam tavehādya dadāmi bhūyaḥ ;
タマブラヴィート プリーヤマーノ マハートマー ヴアラム
タヴェーハーッディヤ ダダーミ ブーヤハ ;
tavaiva nāmnā bhavitā'yamagniḥ sṛṅkāṁ cemāmanekarūpām grhāṇa.
タヴァイヴァ ナームナー バヴィターヤマグニヒ スリンカーム
チェーマーマネーカルーパーム グリハーナ

【単語】英語版テキスト p.26 下段。

- ・タム (tam : 彼 [ナチケーター] に)
- ・アッブラヴィート (abravīt : 言った)
- ・プリーヤマーナハ (prīyamānaḥ : 喜んで)
- ・マハーアートマー (mahā-ātmā : 偉大な魂 (アートマン) [であるヤマ] は)
- ・ヴァラム (varam : 恵み、恩恵、願い)
- ・タヴァ (tava : あなたに)
- ・イハ (iha : この)
- ・アッディヤ (adya : 今)
- ・ダダーミ (dadāmi : 私はあげます)
- ・ブーヤハ (bhūyaḥ : もう一度、もう一つ)

- ・タヴァ エーヴァ ナームナー (tava eva nāmnā : あなたの名前で)
- ・バヴィター (bhavitā : ~となる) [知られるようになる]
- ・アヤム (ayam : この)
- ・アグニヒ (agniḥ : 火)
- ・スリンカーム (sṛṅkāṁ : 首飾り)
- ・チャ (ca : ~もまた)
- ・イマーム (imām : この)
- ・アネーカ ルーパーム (aneka-rūpām : いろいろな形の) [素晴らしい]
- ・グリハーナ (grhāṇa : もらう、受け取る)

【訳】英語版テキスト p.27 中段。

その偉大なアートマン、ヤマはたいそう喜びナチケーターに言った、「あなたにあげたいさらなる恵みがある。[その恵みとは] この火の儀式はあなたの名前で呼ばれることになろう。また、この素晴らしい首飾りも受け取るように」。

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.47、9 行目。

そして死の神は、喜んで再び話した。「私は汝にもう一つ余分に恩恵を与えよう。これからは汝の名にちなんで、この供儀はナチケータス供儀と呼ばれるだろう。

《第 17 節》

【節】 英語版テキスト p.28 上段。

triṇāciketastribhiretya sandhim trikarmakṛt tarati janmamṛtyū;
トウリナーチケータストウリビレーティヤ サンディム
トウリカルマクリット タラティ ジャンマムリッティユー ;
brahmajajñam devamīdyam viditvā nicāyyemām śāntimatyantameti.
ブラフマジャッギヤム デーヴァミーツディヤム ヴィディットヴァー
ニチャーイエーマム シャーンティマッティヤンタメーティ

【単語】 英語版テキスト p.28 中段。

- ・トウリ ナーチケータハ (tri-nāciketah: ナチケーター儀式を三度おこなう)
- ・トウリビヒ (tribhiḥ: 三人から) [三人 = 母、父、師]
- ・エーツティヤ (etya: それをもらって)
- ・サンディム (sandhim: 近くで)
- ・トウリビヒ サンディム エーツティヤ (tribhiḥ sandhim etya: 母、父、そして師からヴェーダを学び; 善き人々の元で学び育てられ)
- ・トウリ カルマ クリット (tri-karma-kṛt: 三つのことをおこなう) [三つとは、儀式をおこなうこと、寄付をすること、ヴェーダを勉強すること]
- ・タラティ (tarati: 超越する)
- ・ジャンマ ムリッティユー (janma-mṛtyū: 誕生と死)

- ・ブラフマ ジャ ャム (brahma-ja-jñam: ブラフマンから生まれた全知、すなわちヴィラート)
- ・デーヴァム (devam: 知識の源であるもの)
- ・イーツディヤム (īdyam: 崇拝すべき)
- ・ヴィディットヴァー (viditvā: 知られている) [聖典によって知られている]
- ・ニチャーヤヤ (nicāyya: ~と一つになる)
- ・イマム (imām: これ) [すなわち、直接経験]
- ・シャーンティム (śāntim: 平安、幸福)
- ・アティヤンタム (atyantam: 無限)
- ・エーティ (eti: 得る、達成する)

【訳】 英語版テキスト p.29 上段。

母、父、師の三人からヴェーダを学び適切に育てられ、ナチケーター儀式と称された供犠を三度おこない、さらに三つのこと [さまざまな儀式を行う、寄付をする、ヴェーダを学ぶ] をおこなう人はその結果生死を超越することができる。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 (この節は省略されている)

《第18節》

【節】 英語版テキスト p.30 中段。

trināciketastrayametadviditvā ya evam vidvāmścinute nāciketam;
トゥリナーチケータストラヤメータット ヴィディットヴァー ヤ エーヴァ
ム ヴィドヴァーム シュチヌテー ナーチケータム ;
sa mṛtyupāsān purataḥ praṇodya śokātigo modate svargaloke.
サ ムリッティユパーシャーン プラタハ プラノーディヤ
ショーカーティゴー モーダテー スヴァルガローケー

【単語】 英語版テキスト p.30 中段。

- ・ トゥリ ナーチケータハ (trināciketah: ナチケーター儀式を三度おこなう)
- ・ トラヤム (trayam: 三つのこと)
[三つとは、儀式に使うレンガの種類、その数、儀式の様式]
- ・ エータット (etat: 前に話した)
- ・ ヴィディットヴァー (viditvān: 知ること)
- ・ ヤハ (yah: 彼)
- ・ エーヴァム (evam: このような方法で)
- ・ ヴィドヴァーン (vidvā: 知ること、この知識によって)
- ・ チヌテー (cinute: 礼拝する)
- ・ ナーチケータム (nāciketam: その火の儀式) [ナチケーター儀式のこと]

- ・ サハ (saḥ: その人)
- ・ ムリッティユパーシャーン (mṛtyupāsān: 束縛から)
- ・ プラタハ (purataḥ: 死ぬ前であっても)
- ・ プラノーディヤ (praṇodya: 解放される)
- ・ ショーカ アティ ガハ (śoka-ati-gaḥ: すべての苦しみ悲しみを超越する)
- ・ モーダテー (modate: 楽しむ)
- ・ スヴァルガローケー (svargaloke: 天国で)
[天国で、自分はヴィラートと一つになって楽しむ]

【訳】 英語版テキスト p.31 上段。

火の儀式について詳しく知る者、つまり [前に話した] 儀式用の祭壇をつくるためのレンガの種類、数、どのように儀式を進行し礼拝するかを知る者、そしてナチケーター儀式を [つねに自分とヴィラートは一つであると理解しながら] 三度おこなう者は、死ぬ前であっても、束縛から解放され、すべての苦しみ悲しみを超越して天国でヴィラートと一体となり楽しむことができる。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 (この節は省略されている)

《第19節》

【節】英語版テキスト p.31 下段。

eṣa te'gnirnaciketaḥ svargyo yamavr̥ṇīthā dvitīyena vareṇa;
エーシャ テーグニルナチケーターハ スヴァルグヨー ヤマヴリニーター
ドヴィティーイエーナ ヴアレーナ ;
etamagniṁ tavaiva pravakṣyanti janāsa-strīyam varam naciketo vṛṇīṣva.
エータマグニム タヴァイヴァ プラヴァクシュヤンティ
ジャーナーサ ストゥリティーヤム ヴアラム ナチケートー ヴリニーシュヴァ

【単語】英語版テキスト p.31 下段。

- ・エーシャハ スヴァルガハ アグニヒ (eṣaḥ svargyaḥ agniḥ :
[たった今、あなたに与えた] 天国へと導くこの儀式)
- ・テー (te : あなたに)
- ・ナチケーターハ (nachiketaḥ : おお、ナチケーターよ)
- ・ヤム (yam : それ) [この儀式にまつわる願い]
- ・アヴリニーターハ (avr̥ṇīthāḥ : あなたは～が欲しいと頼んだ)
- ・ドヴィティーイエーナ ヴアレーナ (dvitīyena vareṇa :
あなたの2番目の願いとして)

- ・エータム マグニム (etam agnim : その火) [その火の儀式を]
- ・タヴァ エーヴァ (tava eva : あなたの名前で)
- ・プラヴァクシュヤンティ (pravakṣyanti : ~と呼ぶ)
- ・ジャーナーサハ (janāsaḥ : 人びとは)
- ・トゥリティーヤム ヴアラム (trīyam varam : 三番目の願い)
- ・ナチケーターハ (nachiketaḥ : おお、ナチケーターよ)
- ・ヴリニーシュヴァ (vṛṇīṣva : 求めよ)

【訳】英語版テキスト p. 32 上段。

[ヤマは言った]「おお、ナチケーター。あなたは二番目の願いとして、天国へと導く火の儀式についての知識を教えてほしいと私に頼んだ。それを今教えて私は願いを叶えた。人々はその火の儀式を『ナチケーターアグニム』と呼ぶだろう。さて、では三番目の願いを求めよ」

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』p.47、11行目。

さあ、三番目の恩恵を選ぶように」

《第20節》

【節】英語版テキスト p.32 下段。

yeyam̐ prete vicikitsā manuṣye-'stītyeke nāyamastīti caike;
イエーヤム プレーテー ヴィチキッサー マヌシュエー -
スティーティエーケー ナーヤマスティーティ チャイケー ;
etadvidyāmanuśiṣṭastvayā'ham̐ varāṇāmeṣa varastrīyaḥ.
エータット ヴィッディヤーマヌシシュタストヴァヤーハム
ヴァラーナーメーシャ ヴアラストウリティーヤハ

【単語】英語版テキスト p.32 下段。

- ・ヤム イヤム ヴィチキッサー (yā iyam vicikitsā : これは共通の議論です)
- ・プレーテー マヌシュエー (prete manuṣye : 人が死ぬときには)
- ・アスティ イティ (asti iti : 残る)
[死んだ人に関する、魂や、残存する何かが続く]
- ・エーケー (eke : ほかの) [ほかの人は ~と言う]
- ・アヤム (ayam : これ)
- ・ナ アスティ イティ (na asti iti : 残らない、続かない) [na は否定を表す]
- ・チャ エーケー (ca eke : また、ほかの人は ~と言う)

- ・アハム エータット ヴィッディヤーム (aham etat vidyām :
私はこれを知りたい)
- ・アヌシシュタハ (anuśiṣṭaḥ : 教えられる * 受け身)
- ・トヴァヤー (tvayā : あなたから)
- ・ヴァラーナム (varāṇām : 恵みのうちの)
- ・エーシャハ ヴアラハ トリティーヤハ
(eṣaḥ trīyaḥ varāḥ : これは三つ目の願いです)

【訳】英語版テキスト p.33 中段。

[ナチケーターは言った]「人が死ぬとき、いつも起こる共通の議論があります。それは、人には死後にも続くなにか [たとえば魂など] があるのか、というものです。ある人々は続くものあるといい、ほかの人はないと言います。私はその答えをあなたから拝聴したい。これが三つ目の願いです」

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』p.47、12行目。

そこでナチケーターは心中に思いめぐらしてから言った。

「人が死ぬと、こういう疑問が起こります。ある人は、彼は存在する、と言い、またある人は、彼は存在しない、と言います。あなたの教えによって、私は真実を知りたいと思います。これが私の三つ目の願いです」

《第 2 1 節》

【節】 英語版テキスト p.34 上段。

devairatrāpi vicikitsitaṁ purā na hi suvijñeyamaṇuṣeṣa dharmah ;
デーヴァイラトラピー ヴィチキッシタム プラー
ナ ヒ スヴィツギエーヤマヌレーシャ ダルマハ ;
anyam varam naciketo vṛṇīṣva mā mōparotsīrati mā sṛjainam.
アンニヤム ヴアラム ナチケートー ヴリニーシュヴァ
マー モーパロートシーラティ マー スリジャイナム

【単語】 英語版テキスト p.34 中段。

- ・ アットラ (atra : これについて)
- ・ デーヴァイヒ アピ プラー ヴィチキッシタム
(devaiḥ api purā vicikitsitam : 神々さえ昔は疑いがあった)
- ・ ヒ (hi : なぜなら)
- ・ エーシャハ ダルマハ アヌフ (eṣaḥ dharmah aṇuḥ :
それ [アートマン、英語テキストでは Self] の本性はそれほど精妙)
- ・ ナ スヴィツギエーヤム (na suvijñeyam : 理解することは難しい)

- ・ ナチケートハ (naciketaḥ : おお、ナチケートーよ)
- ・ アンニヤム ヴアラム ヴリニーシュヴァ (anyam varam vṛṇīṣva :
別の願いにしてください)
- ・ マー マー ウパロートシーヒ (mā mā uparotsīḥ :
大変な頼みを私にしないでください)
- ・ マー エーナム アティスリジャ (mā enam atisṛja :
願いを取り下げてください)

【訳】 英語版テキスト p.34 中段。

かつては神々でさえも、あなたの疑問と同じことに疑いを抱いていた [神は人間より知識が深く純粋だが、その神々さえ、昔は真理やアートマンについて疑いがあった]。なぜなら、アートマン (Self、真我) の本性はとても精妙で、それを理解することは難しいからだ。おお、ナチケートーよ、別の恩恵を申し出てください。私にこの質問をしないでください。その願いを取り下げてください。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.48、1 行目。

「否」と、死の神は答えた。「神々でさえ、かつてこの神秘によって惑わされた。このことに関する真実は実にとらえ難く、理解しがたい。ほかの恩恵を選べ、ナチケートーよ」

《第 2 2 節》

【節】 英語版テキスト p.36 上段。

devairatrāpi vicikitsitaṃ kila tvam ca mṛtyo yanna sujñeyamāttha ;
デーヴァイラットラーピ ヴィチキッシタム キラ
トウヴァム チャ ムリッティヨー ヤンナ スッギエーヤマーッタハ ;
vaktā cāsyā tvādr̥ganyo na labhyo nānyo varastulya etasya kaścit.
ヴァクター チャースヤ トウヴァードウリガンニヨー ナ ラッビヨー
ナーンニヨー ヴアラストウルイヤ エータッスヤ カシュチイト

【単語】 英語版テキスト p.36 中段。

- ・ デーヴァイヒ (devaiḥ : 神々によって)
- ・ アットラ (atra : これについて)
- ・ アピ (api : ~さえ)
- ・ ヴィチキッシタム (vicikitsitam : 疑ってきた)
- ・ キラ (kila : 本当に)
- ・ トウヴァム (tvam : あなた)
- ・ チャ (ca : そして)
- ・ ムリッティヨー (mṛtyo : おお、死神よ)
- ・ ヤット (yat : なぜなら)
- ・ ナ (na : ~ではない) [= not]
- ・ スッギエーヤム (sujñeyam : よく理解されて)
- ・ アーッタ (āttha : [あなたが] 言っている)

- ・ ヴァクター (vaktā : 師、先生)
- ・ チャ (ca : そして)
- ・ アッスヤ (asya : これについて)
- ・ トウヴァードウリック アニヤハ ナ ラッビヤハ
(tvādr̥k anyāḥ na labhyaḥ : あなたのようないない)
[あなたほどの先生を見つけることはできない]
- ・ ナ アンニヤハ (na anyāḥ : 他にない)
[別の／他の(願い)はない]
- ・ ヴアラハ (varaḥ : 願い、恩恵)
- ・ トウルイヤハ (tulyaḥ : ~に等しい)
- ・ エータッスヤ (etasya : これについて)
- ・ カシュチイト (kaścit : ~はすべて) [=whatsoever]
[このテーマについて(エータッスヤ)、これほどの願いは(ヴァラハ トウルイヤハ)、
他には全くありません(ナ アンニヤハ カシュチイト)]

【訳】 英語版テキスト p.36 下段。

[ナチケーターは答えた] おお、死神よ、「昔は神々でさえこの事柄について論争した」と神々の一人であられるあなた自身がおっしゃいました。そして「真我（Self、アートマン）を知るのは簡単ではない」とおっしゃいました。他にあなたほどの先生を見つけることはできません。またこれ以上の尊い願いがあるでしょうか。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.48、3行目。

しかし、ナチケーターは折れようとしなかった。「死の神よ、あなたは言います。神々でさえ、かつてこの神秘に惑わされた。そしてそれは理解しがたい、と。まことに、それを説くことのできる、あなたより優れた師はありません。——そして、これに匹敵する恩恵は他にありません」
それに対し、再びナチケーターを試みようとして、死の神は繰り返した。

《第 2 3 節》

【節】英語版テキスト p.37 下段。

śatāyusaḥ putrapautrān vṛṇīṣva bahūn paśūn hastihiraṇyamaśvān;
シャターユシャハ プットラパウットラーン ヴリニーツシュヴァ
バフーン パシューン ハスティヒランニヤマツシュヴァーン ;
bhūmermahadāyatanaṁ vṛṇīṣva svayaṁ ca jīva śarado yāvadicchasi.
ブーメールマハダーヤタナム ヴリニーツシュヴァ
スヴァヤム チャ ジーヴァ シャラダー ヤーヴァディッチャシ

【単語】英語版テキスト p.37 下段。

- ・ シャターユシャハ (śatāyusaḥ : 100年生きる) [それほどの長寿]
- ・ プットラ パウットラーン (putra-pautrān : 息子や孫)
- ・ ヴリニーツシュヴァ (vṛṇīṣva : 選ぶ)
- ・ バフーン (bahūn : たくさんの)
- ・ パシューン (paśūn : 家畜) [雌牛]
- ・ ハスティ (hasti : 象)
- ・ ヒランニヤム (hiraṇyam : 金・銀・ダイヤモンドなどの宝石、富)
- ・ アッシュヴァーン (aśvān : 馬)

- ・ ブーメーヒ (bhūmeḥ : 地上の)
- ・ マハット (mahat : 広大な)
- ・ アーヤタナム (āyatanaṁ : 領地)
- ・ ヴリニーツシュヴァ (vṛṇīṣva : 選ぶ)
- ・ スヴァヤム (svayaṁ : あなた自身)
- ・ チャ (ca : そして)
- ・ ジーヴァ (jīva : 生きる)
- ・ シャラダハ (śaradaḥ : 秋) [many seasons (たくさんの季節)]
- ・ ヤーヴァト (yāvāt : ~するかぎり)
- ・ イッチャシ (icchasi : あなたは望む)

【訳】英語版テキスト p.38 上段。

[ヤマは言った] 息子や孫たちの長寿を選び、それを願いなさい。たくさんの雌牛や象や馬を願いなさい。莫大な黄金を願いなさい。広大な領地を願いなさい。
[健康な体で] あなたの好きなかぎり長く生きるがいい。

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.48、8 行目。

ヤマは言った。「100年生きる子や孫を、象、馬、牛の群れ、そして黄金を選びなさい。地上の広大な土地を選び、そこであなたが好きなだけ(限定無限)生きなさい」

《第24節》

【節】英語版テキスト p.38 下段。

etattulyaṁ yadi manyase varaṁ vṛṇīṣva vittāṁ cira-jīvikāṁ ca;
エータットウルイヤム ヤディ マンニヤセー ヴアラム
ヴリニーツシュヴァ ヴィッタム チラジーヴィカーム チャ ;
mahābhūmau naciketastvamedhi kāmānām tvā kāmabhājaṁ karomi.
マハーブーマウ ナチケートゥストヴァメーディ
カーマーナム トヴァー カーマバージャム カローミ

【単語】英語版テキスト p.38 下段。

- ・エータット (etat : これ)
- ・トゥルイヤム (tulyam : ~に等しい)
- ・ヤディ (yadi : もし)
- ・マンニヤセー (manyase : あなたが考える)
- ・ヴアラム (varam : 願い、恩恵)
- ・ヴリニーツシュヴァ (vṛṇīṣva : 選ぶ)
- ・ヴィッタム (vittam : 富)
- ・チラ ジーヴィカーム チャ (cira-jīvikāṁ ca : そして長寿を)

- ・マハー ブーマウ (mahā-bhūmau : 広大な領地)
- ・トウヴァム (tvam : あなた)
- ・エーディ (edhi : ~となろう) [= will be]
- ・カーマーナム (kāmānām : [神々や人間が切望する] すべてのものを)
- ・トウリティーヤム ヴアラム (ṛṇīyam varam : 三番目の願い)
- ・トヴァー (tvā : あなた)
- ・カーマバージャム (kāmabhājam : 楽しむのに適した)
- ・カローミ (karomi : ~にする) [= make]

【訳】英語版テキスト p. 39 上段。

もし他に、これと同じぐらいの良い恩恵を、あなたが考えつくならば、それを望むがよい。富を選びなさい。長寿や、王になることを選びなさい。神々や人間が切望するものを何でも願い出なさい。私はあなたをその享受者にしてあげよう。

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.48、9 行目。

もしあなたが他の願いを考えるならば、それを選びなさい。ナチケートスよ、広大な王国の王になれ。私があるあなたをすべての欲求を享受する人にしよう。——甘美な快樂だけでなく、想像を超えた権力を願って、その悦びを味わえ。おお、まことに、私は汝を、あらゆる良きことを味わう至上の享受者にしよう。

《第25節》

【節】英語版テキスト p.39 下段。

ye ye kāmā durlabhā martyaloke sarvān kāmāṁśchandataḥ
prārthayasva ;

イエー イエー カーマー ドウルラバー マルティヤローケー
サルヴァーン カーマムシュチャンダタハ プラールタヤスヴァ ;

imā rāmāḥ sarathāḥ satūryā na hīdṛśā lambhanīyā manuṣyaiḥ ;

イマー ラーマーハ サラターハ サトウーリヤー

ナ ヒードリッシャー ラムバニーヤー マヌシュヤイヒ ;

ābhīmatprattābhiḥ paricārayasva naciketo maraṇam mā'nuprākṣiḥ.

アービルマップラッタービヒ パリチャーラヤスヴァ

ナチケートー マラナム マーヌプラークシーヒ

【単語】英語版テキスト p.40 上段。

- ・ イエー イエー (ye ye : ~するものはなんでも)
- ・ カーマーハ (kāmāḥ : 欲望の対象)
- ・ ドウルラバーハ (durlabhāḥ : 手に入れることが難しい)
- ・ マルティヤローケー (martyaloke : この世 [現世] で)
- ・ サルヴァーン (sarvān : すべての)
- ・ カーマーン (kāmān : 願い、願いの対象)
- ・ チャンダタハ (chandataḥ : その願いがあるなら)
- ・ プラールタヤスヴァ (prārthayasva : 願い出てください)

- ・ イマーハ (imāḥ : これらの)
- ・ ラーマーハ (rāmāḥ : 美しい天女たち)
- ・ サ ラターハ (sa-rathāḥ : 馬車に乗り)
- ・ サ トウーリヤーハ (sa-tūryāḥ : 楽器を演奏する)
- ・ ナ (na : ~ではない) [= not]
- ・ ヒ (hi : まったく、本当に)
- ・ イードリッシャーハ (īdṛśāḥ : これらのような)
- ・ ラムバニーヤーハ (lambhanīyāḥ : 得られる)
- ・ マヌッシュヤイヒ (manuṣyaiḥ : ふつうの人間)
- ・ アービヒ (ābhiḥ : それら [天女たち] を)
- ・ マット プラッタービヒ (mat prattābhiḥ : 私によって)
- ・ パリチャーラヤスヴァ (paricārayasva : [美しい女性たちが] 仕える)
- ・ ナチケートーハ (naciketaḥ : おお、ナチケートーよ)
- ・ マラナム (maraṇam : 死) [たとえば魂のように、死後に続くものについて]
- ・ マー アヌプラークシーヒ (mā anuprākṣiḥ : 尋ねないでください)

【訳】 英語版テキスト p.40 中段。

この世には多くの快樂があるが、中には到底得ることなど出来そうにないものもある。しかし、もしあなたがそれを望むなら、あなたは何でもそれを選び取ることができる。たとえば、馬車に座って音楽を奏でる天女たちを選びなさい。それは普通の人間には手に入らないもの [天国に行かなければ楽しめないもの] だ。しかしもし、あなたが望むなら、私は彼らをあなたに差し上げ、あなたに仕えさせよう。だからどうか、ナチケータスよ、死と、死後に続く何かについて、私に尋ねないでください」

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.48、13 行目。

眺めるだけでも美しく、本来ならば死すべき者たちには与えられない、天上の乙女たち——彼女たちでさえ、輝く馬車に乗せて、種々の楽器を持たせ、汝のもとに遣わし、汝に仕えさせよう。だが、ナチケータスよ、死の秘密を願うなかれ！」

《第26節》

【節】英語版テキスト p.41 中段。

śvobhāvā martyasya yadantakaitat sarvendriyāṅām jarayanti tejaḥ ;
シュヴォーバーヴァー マルティヤッスヤ ヤダントカイトット
サルヴェーンドウリヤーナム ジャラヤンティ テージャハ ;
api sarvaṁ jīvitamalpameva tavaiva vāhāstava nṛtyagīte.
アピ サルヴァム ジーヴィタマルパメーヴァ タヴァイヴァ
ヴァーハースタヴァ ヌリッティヤギーテー

【単語】英語版テキスト p.41 中段。

- ・ シュヴァハ (śvaḥ : 明日)
- ・ アバーヴァーハ (abhāvāḥ : 続かない)
[シュヴォーバーヴァーśvobhāvā : 明日まで続かない＝一時的なもの]
- ・ マルティヤッスヤ (martyasya : 死ぬべき運命のもの＝人間)
- ・ ヤット (yat : これらすべては)
- ・ アンタカ (antaka : 英語ではEnder、終わらせる人＝死神)
- ・ エータット (etat : これらすべては)
- ・ サルヴェーンドウリヤーナム (sarvendriyāṅām : すべての感覚を)
- ・ ジャラヤンティ (jarayanti : 使い尽くす、消耗させる)
- ・ テージャハ (tejaḥ : 活力、力)

- ・ アピ (api : だけでなく、また) [= also]
- ・ サルヴァム (sarvaṁ : すべて)
- ・ ジーヴィタム (jīvitam : 生命)
- ・ アルパム (alpam : 短い)
- ・ エーヴァ (eva : ～でさえ) [= even]
- ・ タヴァ (tava : あなたの)
- ・ ヴァーハーハ (vāhāḥ : 馬車)
- ・ ヌリッティヤギーテー (nṛtyagīte : 踊りや歌)

【訳】英語版テキスト p.41 下段。

[ナチケーターは言った]「死神よ。これらの楽しみはすべて一時的です。それだけでなく感覚の力を消耗させます。長生きしても（永遠に比べれば）短いです。馬車や踊りや歌はあなた自身のために取っておいてください。

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』p.49、1行目。

しかし、ナチケーターはじっと立ちつくして言った。「それらのものは遠くない未来に消え去ります。そして、おお、生の破壊者よ、それらがもたらす快楽は感覚器官をすりへらします。馬や戦車、歌や踊りは、あなた自身のために取っておきなさい！

《第27節》

【節】英語版テキスト p.42 下段。

na vittena tarpaṇīyo manuṣyo lapsyāmahe vittamadrākṣma cettvā ;
ナ ヴィッターナ タルパニーヨー マヌッショー ラプスヤーマヘー
ヴィッタマッドウラークシュマ チェートヴァー ;
jīviṣyāmo yāvadīśisyasi tvam varastu me varaṇīyaḥ sa eva.
ジーヴィッシャーモー ヤーヴァディーシッシュヤシ トウヴァム
ヴァラストウ メー ヴアラニーヤハ サ エーヴァ

【単語】英語版テキスト p.42 下段。

- ・ナ (na : ~でない) [= not]
- ・ヴィッターナ (vittena : 富によって、お金によって)
- ・タルパニーヤハ (tarpaṇīyaḥ : 満足する)
- ・マヌッシャハ (manuṣyaḥ : 人間は) 人はお金で満足することはできない。
- ・ラプスヤーマヘー (lapsyāmahe : ~を得るだろう) [未来形]
- ・ヴィッタム (vittam : 富、お金)
- ・アドウラークシュマ (adrākṣma : 見た) [死神ヤマを見たときから]
- ・チェート (cet : ~なので、~のときから) [= since / if]
- ・トウヴァー ; (tvā : あなた)

- ・ジーヴィッシャーマハ (jīviṣyāmaḥ : 生きる)
- ・ヤーヴァト (yāvat : ~のかぎり) [= so long]
- ・イーシッシュヤシ (īśisyasi : (死神としての) 権限を持つ、采配をふるう)
- ・トウヴァム (tvam : あなた)
- ・ヴァラハ (varaḥ : 恩恵)
- ・トウ (tu : ~だけ)
- ・メー (me : 私に)
- ・ヴァラニーヤハ (varaṇīyaḥ : 価値のある)
- ・サハ (saḥ : それ)
- ・エーヴァ (eva : 本当に)

【訳】英語版テキスト p.43 上段。

人は富で満足することはできません。私はあなたを見たときから、自分が富を得ることを疑っていません。また私はあなたが死神としての采配をふるうまで、生きることでしょう。ですから私は他の恩恵は求めません。

【訳】協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.49、3行目。

おお、死の神よ、一度あなたの顔を見た者が、どうして富を願うでしょうか。否、私が選んだこの恩恵のみを——それのみを、私は願います。

《第28節》

【節】 英語版テキスト p.44 上段。

ajīryatāmamṛtānāmupetya jīryanmartyaḥ kvadhaḥsthaḥ prajānan ;
アジーリヤターマムリッターナムペーティヤ ジーリヤンマルティヤハ
クヴァダハスタハ プラジャーナン ;
abhidhyāyan varṇaratipramodā -natidīrghe jīvite ko rameta.
アビッディヤーヤン ヴァルナラティップラモーター ナティディールゲー
ジーヴィテー コー ラメータ

【単語】 英語版テキスト p.44 中段。

- ・クヴァダハスタハ (kvadhaḥsthaḥ : 天国の下の世界で) [この世界で]
[ク (ku : 不足を表す接頭辞) アダハ (adhaḥ : 下に) スタハ (sthaḥ : 存在する)]
- ・ジーリヤン (jīryan : 衰え、衰退)
- ・マルティヤハ (martyaḥ : 死す運命のもの)
- ・アジーリヤターム (ajīryatām : 衰えない)
- ・アムリッターナム (amṛtānām : 死なないもの)
- ・ウペーティヤ (upetya : ~に会って) ;
- ・プラジャーナン ; (prajānan : 悟る)

- ・ヴァルナ - ラティ - プラモーターン
(varṇa : 美しい女性と、rati : 遊ぶ、pramodān : 世俗的な楽しみ)
- ・アビッディヤーヤン (abhidhyāyan : 深く考えると)
- ・アティディールゲー (atidīrghe : 長い)
- ・ジーヴィテー (jīvite : 命)
- ・カハ (kaḥ : 誰が)
- ・ラメータ (rameta : 楽しむ、喜ぶ)

【訳】 英語版テキスト p.44 下段。

天国の下の世界では衰えて死ぬ運命だと知る者が、また、たとえ美しい女性であろうとも感覚の喜びには終わりがあると知る者が、より高いものを与えることができる不滅の存在を知ることになって深く考えたとき、誰がわざわざ長い寿命を願ったりするのでしょうか？

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.49、5行目。

あなたを知ることによって、不滅のもの、不死のものとの交わりを得、そして、肉体の無常を知り尽くした——その私が、老衰と死とをまぬがれ得ぬこの私が、どうして長命を願うのでしょうか」

《第 29 節》

【節】 英語版テキスト p.45 下段。

yasminnidam vicikitsanti mṛtyo yatsāmparāye mahati brūhi nastat ;
ヤスミンニダムヴィチキツァンティムリッティヨー
ヤットサームパライーエーマハティブルーヒナスタット ;
yo'yam varo gūḍhamanupraviṣṭo nānyam tasmānaciketā vṛṇīte.
ヨーヤムヴァローグーダマヌプラヴィシュトナーニヤム
タスマーンナチケーターヴリニーテー

【単語】 英語版テキスト p.45 下段。

- ・ ムリッティヨー (mṛtyo : おお死神よ)
- ・ ヤスミン (yasmin : ~について)
- ・ イダム (idam : これ) [魂があるかどうかの質問]
- ・ ヤット (yat : それ)
- ・ ヴィチキツァンティ (vicikitsanti : 討論する) [死後についての議論]
- ・ タット (tat : それ) [魂について]
- ・ マハティ (mahati : 偉大な)
- ・ サームパライーエー (sāmparāye : 冥土、死後の世界)
- ・ ナハ (naḥ : 私たちに)
- ・ ブルーヒ (brūhi : 説明する)

- ・ ヤハアヤムヴァラハ (yaḥayamvaraḥ : (魂に関する) その特定の恩恵)
[ヤハ (yaḥ : ~のもの) アヤム (ayam : この) ヴァラハ (varaḥ : 恩恵)]
- ・ グーダム (gūḍham : 秘密の)
- ・ アヌプラヴィシュタハ (anupraviṣṭaḥ : 明らかにするのがとても難しい)
- ・ タスマート (tasmāt : それを除いて)
- ・ アニヤム (anyam : 他の) [他の恩恵、願い]
- ・ ナチケーターナヴリニーテー (naciketā na vṛṇīte : ナチケーターは~を要求しない) [ナチケーターはの願いをかなえて欲しいとは考えていない]

【訳】 英語版テキスト p.46 中段。

「おお死神よ。魂はあるのかないのかはいつも議論されていますが、この質問は、死後の世界と、解脱に関連するととても重要な質問です。それは神秘（秘密にされているもの）で、明らかにすることは難しいし、多くの調査が必要です。だからどうぞそれを私に説明してください」ナチケーターは他の恩恵は望まなかった。

【訳】 協会書籍『ウパニシャッド 改訂版』 p.49、8 行目。

「語ってください、王よ、それに関して人々が疑念を抱くところの最高の秘密を。私は他の恩恵を願いません」そこで、死の王は、内心大いに喜び、ナチケーターに不死の秘密を教え始めた。